

八甲田山の火山活動解説資料（平成30年8月）

仙台管区気象台
地域火山監視・警報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。
噴火予報（活火山であることに留意）の予報事項に変更はありません。

○ 活動概況

・噴気など表面現象の状況（図1）

大川原及び地獄沼に設置している監視カメラによる観測では、噴気は認められませんでした。

・地震や微動の発生状況（図2）

火山性地震は少ない状態で経過しました。

火山性微動は観測されませんでした。

・地殻変動の状況（図3、図5）

火山活動によると考えられる変化は認められませんでした。

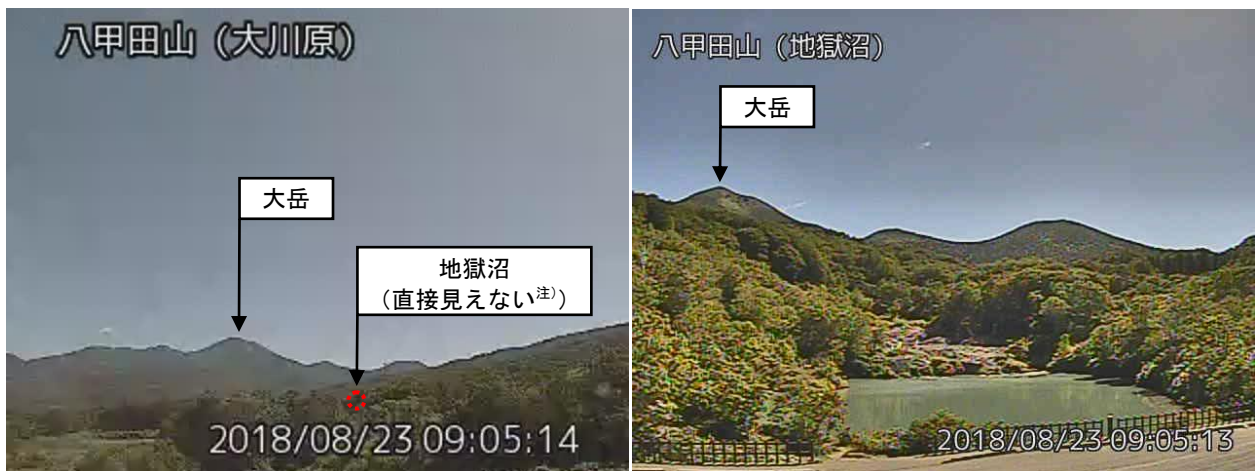


図1 八甲田山 山頂部及び地獄沼周辺の状況

・左図：大川原（大岳の西南西約6km）に設置している監視カメラの映像（8月23日）です。

・右図：地獄沼（地獄沼の西約100m）に設置している監視カメラの映像（8月23日）です。

注）地獄沼から噴気が噴出した場合、大川原では高さ100m以上のときに観測されます。

赤破線が地獄沼の位置を示します。

この火山活動解説資料は、仙台管区気象台のホームページ（<https://www.jma-net.go.jp/sendai/>）や、気象庁ホームページ（https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php）でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成30年9月分）は平成30年10月9日に発表する予定です。

この資料は気象庁のほか、国土地理院、東北大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所及び青森県のデータも利用して作成しています。

本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の「数値地図50mメッシュ（標高）」を使用しています（承認番号 平29情使、第798号）。

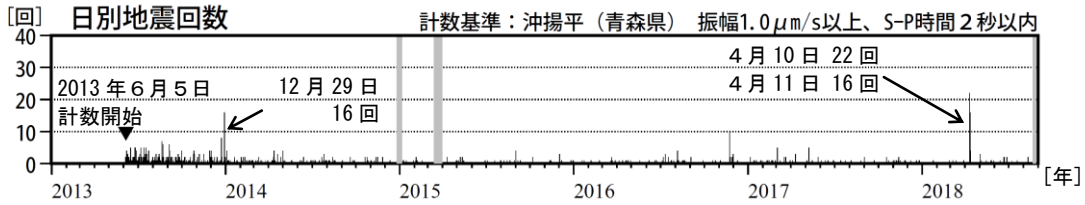


図 2 八甲田山 日別地震回数（2013 年 1 月～2018 年 8 月）

- ・ 灰色部分は欠測を表しています。
- ・ 今期間、21 日から 27 日にかけて基準観測点の機器障害により地震回数が欠測となっておりますが、その他の観測点による監視では、地震活動に変化は認められませんでした。

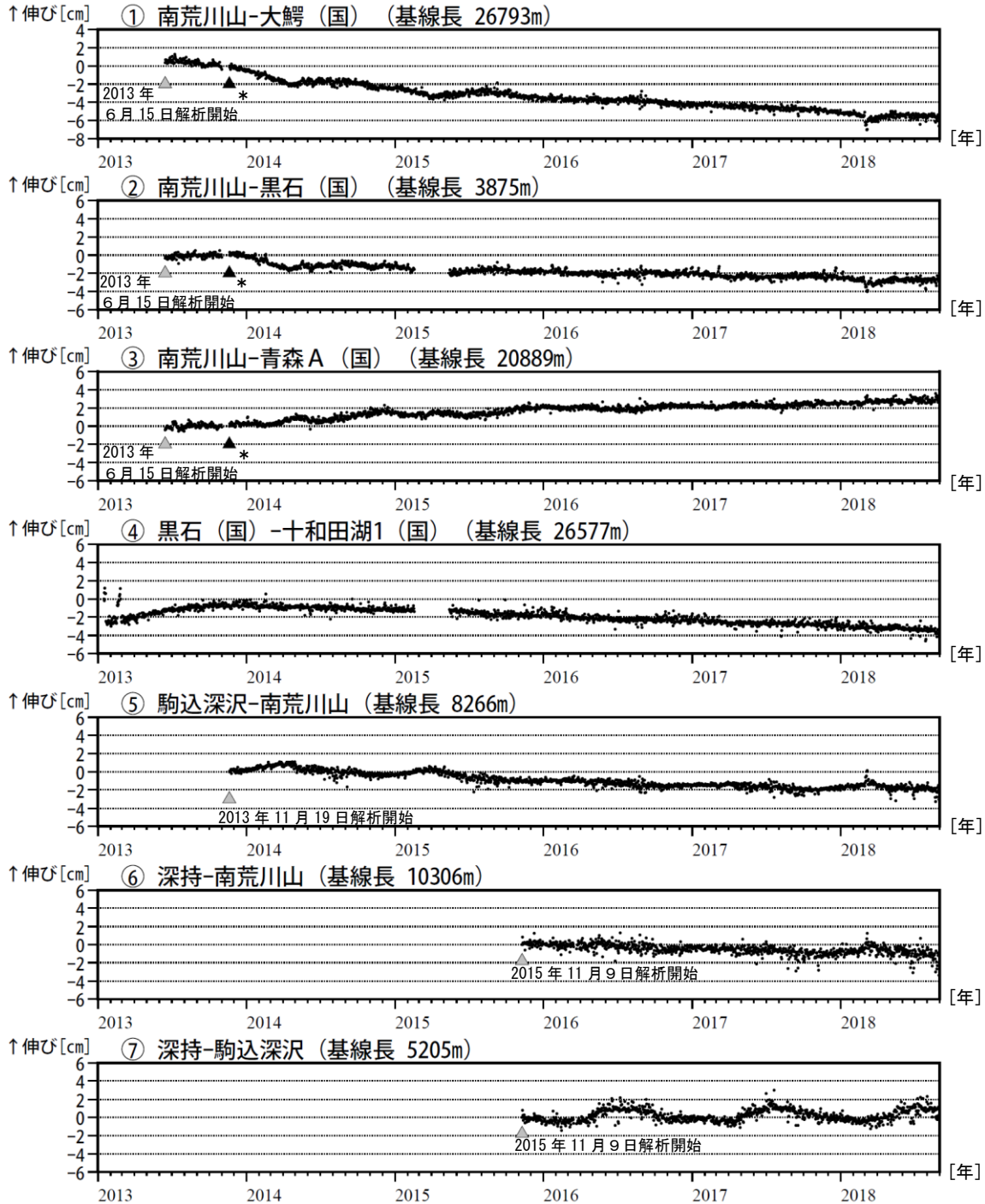


図 3 八甲田山 GNSS¹⁾ 基線長変化図（2013 年 1 月～2018 年 8 月）

- ・ 空白部分は欠測を示します。 ・ (国) は国土地理院の観測点を示します。
 - ・ ①～⑦は図 5 の GNSS 基線①～⑦に対応しています。
 - ・ * : 2013 年 11 月に南荒川山観測点の機器更新及び移設、解析方法の変更を行いました。
- 1) GNSS とは Global Navigation Satellite Systems の略称で、GPS をはじめとする衛星測位システム全般を示します。

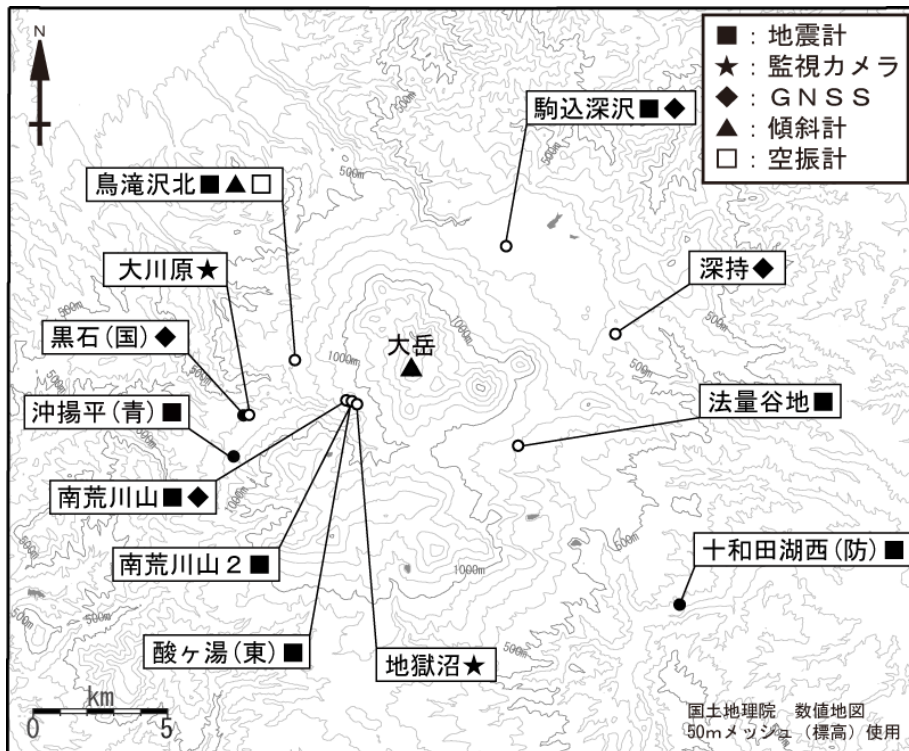


図4 八甲田山 観測点配置図

小さな白丸（○）は気象庁、小さな黒丸（●）は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。

（国）：国土地理院 （東）：東北大学 （防）：防災科学技術研究所
（青）：青森県

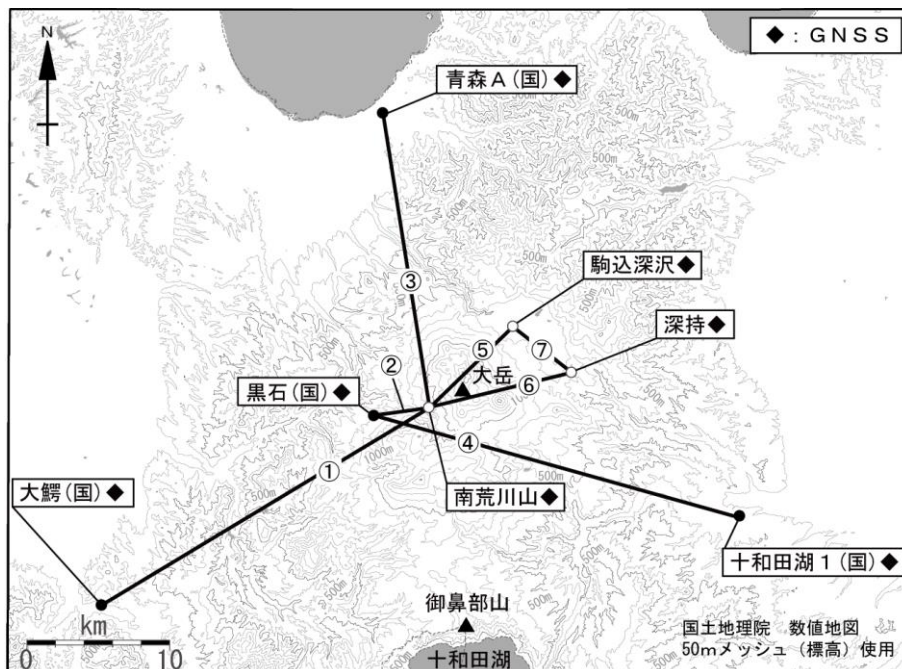


図5 八甲田山 GNSS 観測基線図

小さな白丸（○）は気象庁、小さな黒丸（●）は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。

（国）：国土地理院